

令和5年度 北区立梅木小学校 学校関係者評価報告書

令和6年2月17日

学校関係者評価委員会 委員長 鍋島 豊

1. 学校関係者評価委員会の構成（委員名・所属）

浦野 秀樹（西が丘自治会長）	橋本 博文（三つ和自治会長）
森下 淑子（元北区教育委員）	石井 良弘（元PTA会長）
羅 麗子（元PTA会長）	矢部 美沙子（北区立西が丘児童館長）
古池 雪恵（北区立西が丘保育園長）	佐々木 チヨ（西が丘三丁目自治会長 民生児童委員）
青木 順一（西が丘青少年赤羽地区委員）	兼松 リカ（前PTA会長）
篠澤 恵理（北区立うめのき幼稚園長）	西山 智（前PTA会長）
鍋島 豊（PTA会長）	

2. 学校関係者評価委員会の主な活動（日時・会場・協議内容）

- (1) 日時・場所 令和6年2月5日（月） 北区立梅木小学校 図書室
- (2) 協議内容
- ①本年度の教育活動の振り返り
 - ②保護者による学校評価の結果報告に対する協議
 - ③教職員による自己評価の結果報告に対する協議
 - ④次年度の見直しに対する協議

3. 学校関係者評価の結果と分析

- (1) 結果 [A…そう思う B…思う C…思わない D…全く思わない E…分からない]

	評価項目	A	B	C	D	E
1	児童にとって梅木小学校は楽しい学校になっていると思いますか。	11	2	0	0	0
2	教職員は、児童のことをよく理解して指導していると思いますか。	8	5	0	0	0
3	学習規律が守られた授業が行われていると思いますか。	10	3	0	0	0
4	パソコンなど ICT 機器を活用した授業が行われていると思いますか。	9	4	0	0	0
5	なかよし班（たてわり班）活動やクラブ活動など異学年で交流する場が適切に設けられていると思いますか。	10	3	0	0	0
6	PTA や地域、近隣の学校（うめのき幼稚園、稲付中学校、西が丘小学校、児童館）と連携が図れていると思いますか。	10	2	1	0	0
7	安全点検やセーフティ教室、毎月の避難訓練などを通して、児童の防犯や安全指導に努めていると思いますか。	12	1	0	0	0
8	学校の施設・設備は、整備や管理が徹底されていると思いますか。	10	2	0	0	1
9	学校行事や土曜授業など、児童の様子を保護者、地域へ公開できていると思いますか。	11	2	0	0	0
10	学校や地域行事などのお知らせ（文章、メール等）は適切に行われていると思いますか。	9	3	1	0	0
11	各種便り（学校、学年、保健、給食等）やホームページで学校の情報を伝えられていると思いますか。	7	4	1	0	1
12	通知表は、学習の評価や生活の様子が分かりやすく伝えられていると思いますか。	4	2	0	0	7
13	保護者からの相談や要望に適切に対応していると思いますか。	7	5	0	0	1
14	児童についてお聞きします。しっかりとあいさつができていますか。	5	7	1	0	0
15	児童についてお聞きします。丁寧な言葉遣いができていますか。	5	6	1	0	1
16	児童についてお聞きします。学校の準備を忘れずにできていますか。	4	4	0	0	5
17	児童についてお聞きします。社会や学校のきまりを守って生活していると思いますか。	9	4	0	0	0
18	児童についてお聞きします。いじめや仲間外れなどをせず、友達と仲よく過ごしていると思いますか。	3	7	2	0	1
19	児童についてお聞きします。基礎的・基本的な学力が身に付いてきていると思いますか。	6	6	0	0	1
20	児童についてお聞きします。授業や学校行事などの学習活動に意欲的に取り組んでいると思いますか。	9	4	0	0	0

(2) 分析

◎成果

- ・概ね肯定的な評価をいただいた。学校経営方針に則って教育活動を実施し、学校関係者の皆様にも多くの場面でご支援をいただいた。学校が地域と共に歩んでいる成果であると考えている。
- ・昨年度と比べてA評価が増えていることも顕著な傾向ととらえている。児童の姿を通して評価されたものと受け止め、今後も児童の姿で語れる学校づくりをしてまいりたい。

◆課題

- ・6項目でC評価があった。現状をありのままに正確にお伝えした結果ととらえている。改善したことも今後、報告していく。
- ・項目12、項目16についてはE評価を多くいただいた。児童の実態が見えない分かりづらさがある結果と受け止めている。今後は具体的な事例等を示しながら、分かりやすく説明していく。

4. 改善の方策についての意見

- ・学校評議委員からの学校評価は保護者・児童アンケートを見てからでもいいのではないかと。評価の観点を示してくれると評価がしやすい。
- ・不登校や配慮児童への働きかけをこれまで同様に地域でもやっていく。
- ・学校評価で90%肯定的であることはだいたい普通ととらえてよい。
- ・地域への学校便り等のお便りの配布は掲示板だけでもよい。
- ・わくわくひろばでの韓国語教室に来た児童が熱心に学んでいる姿から、学校だけでない、きっかけが子どもを学びに動かす力になることがある。
- ・(児童のアンケート結果から)自分から発信しても大丈夫という安心が必要である。植松 努氏の講演を聴いて、大人の関わり方が大切であると感じた。参考にしてほしい。
- ・保護者と教師が直接懇談的に話す機会が無くなってきた。そのような機会を作ってもよいのではないかと
- ・地域の方が学校のために動いていることをPTAの役員さんでも知らないことがある。ぜひ伝えてほしい。
- ・児童のあいさつは夏と冬では声の大きさに差があるが、相手の顔を見てあいさつしてくれるようになってきた。
- ・校庭開放の役員の方の人員体制や使用する部屋の寒さ対策等をして改善してほしい。
- ・学校としてアンケートや評価を取り、分析・改善策をちゃんと出していることが分かった。こういうことが大事である。
- ・不登校は年々増えている。みんなで協力して減らしていきたい。いじめのことも学校生活がまずできること。子どもが振り返ったときに「あの頃が良かった。」と思わせる学校にしていくことが大切である。
- ・地域とのつながりは努力しているがまだ乏しいと感じている。
- ・学校とわくわくひろばでは子どもの様子は違う。子どもの気持ち、親の思いを大切にしていきたい。今後も情報交換をしていきたい。
- ・学校評価を見ると高評価である。子どもも学校が楽しいと評価している。しかし、そうではないと答えている子どももいるので、そこへも目を向けていってもらいたい。
- ・OJTで授業改善していくことは、子どものせいにならない姿勢が大切である。児童の変容を見ることで、教師が他の実践の良さに気付いていける。
- ・うめのキッズカリキュラムの試みが良い。
- ・保護者・児童の評価が高いのは、学校教育が浸透している証拠である。
- ・PTAとして地域の方の活動がまだ分かっていないところがある。ここにいる方とPTA役員さんとして懇談できる場を設けるのも大事なことから考える。